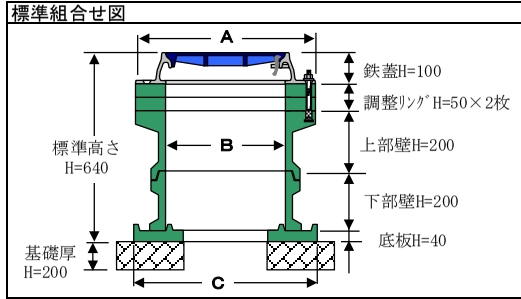
改訂 設置手順書 ※本手順書は、標準的な設置手順のため、詳細は各製造者が定める留意事項を遵守願います。

資料3

＜消火栓用円形鉄蓋　設置手順書1＞

その1

標準組合せ図



単口消火栓室		
A	B	C
φ660	φ500	φ700

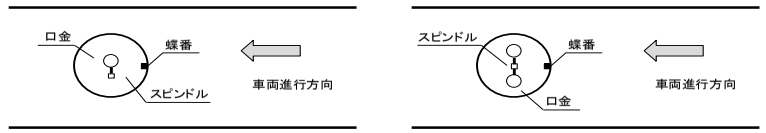
双口消火栓室		
A	B	C
φ760	φ600	φ800

（単位：mm）

留意事項

・鉄蓋の設置にあたっては、蝶番位置が消火栓（排水栓）口金側とならないよう設置してください。
・消火栓（排水栓）を車道に設置する場合、原則として蝶番位置が車両進行方向に対して手前となるよう設置してください。

（設置例）



1）基礎工

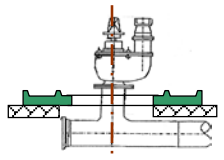
基礎工については、土木工事共通仕様書を参照し施工すること。

注意　基礎砕石厚さは20cmを基本とするが、本管に接触しないように調整すること。
本管の周囲は、必ず砂で埋め戻しを行うこと。

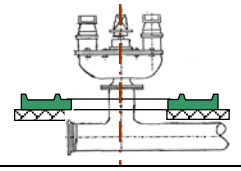
2）底板設置

底板中心と消火栓ｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙｷｬｯﾌﾟ中心とが、合致するように底板を設置して下さい。
また底板は水平且つ、がたつきがないように設置して下さい。

（単口消火栓）



（双口消火栓）

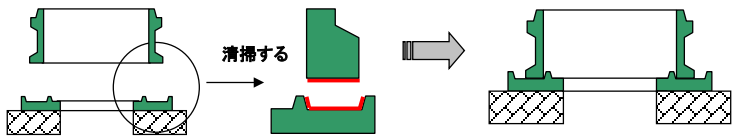


（設置例写真）

3）下部壁設置

①底板と下部壁の嵌合部を清掃すること。
嵌合部に砕石等があると下部壁のがたつき、損傷の原因となります。

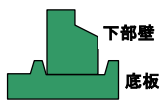
②下部壁を底板に設置。



注意　底板には必ず下部壁を設置して下さい。誤って上部壁を設置すると破損の原因となります。

（下部壁の嵌合部形状）

凹凸がなく平らである

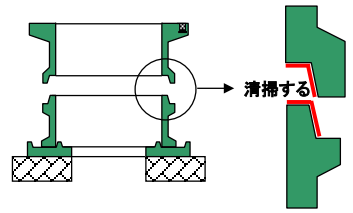


（中間壁，上部壁の嵌合部形状）

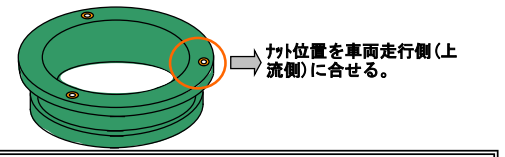
凹凸がある

4）上部壁設置

①下部壁と上部壁の嵌合部を清掃。



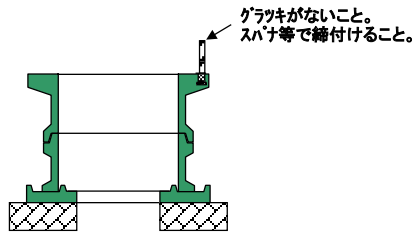
②上部壁のﾅｯﾄの位置を車両走行側（上流側）に合せて設置。



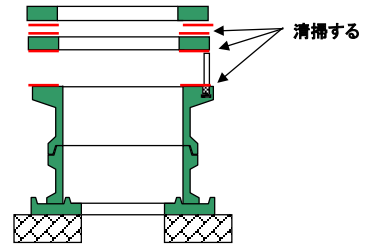
注意　ナット位置を誤ると蓋の開放方向が異なってきますので、ナットの位置を正確に車両走行側に合せて上部壁を設置して下さい。

5）調整ﾘﾝｸﾞ設置

①上部壁に3本、ﾎﾞﾙﾄを設置する。
ﾎﾞﾙﾄはｸﾞﾗﾂｷがないようにｽﾊﾟﾅ等で締付ける。

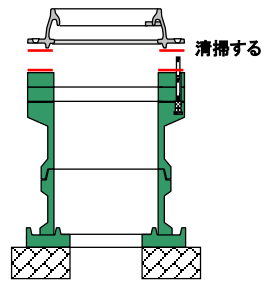


②上部壁、調整ﾘﾝｸﾞの嵌合部を清掃し、調整ﾘﾝｸﾞ2枚を設置する。

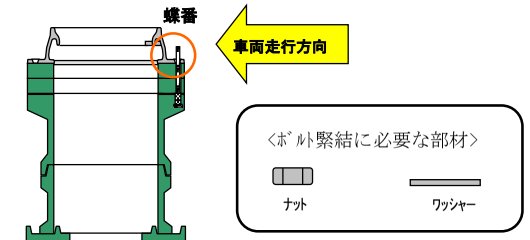


6）鉄蓋設置

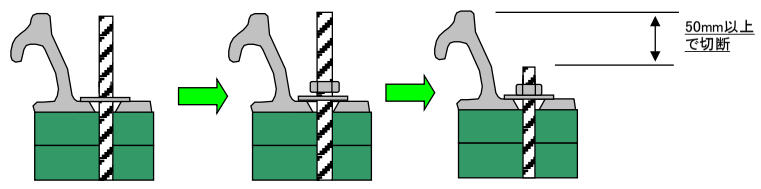
①調整ﾘﾝｸﾞ上面，枠下面を清掃する。



②蝶番を車両走行方向（上流側）にして枠を設置する。



③ボルト部3箇所は、ナットで均等に十分締付け固定する。
また、余分に突き出たﾎﾞﾙﾄは路面より50mm以上下げた箇所で切断する。



注意　ナットの締め込み過ぎは、受枠を変形させるおそれがあり、ガタツキ発生の原因となるため、注意してください。
（ナットの締め付け強さについては、各製造者の説明書等に従って行ってください。）

＜消火栓用円形鉄蓋　設置手順書2＞

鉄蓋の取扱い方

①蓋、枠の嵌合部を清掃する。

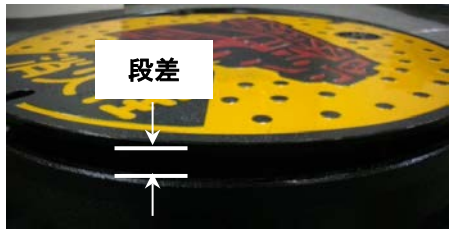
鉄蓋清掃状況

受枠清掃状況

> ⚠注意　蓋及び受枠との嵌合部の梱包に使われていたダンボール・ガムテープ等が残存していないことを確認してください。

②蓋上端部を木材等で叩き、
枠に蓋をはめ込む。

③蓋上面を踏む等、がたつきが無いことを確認して下さい。



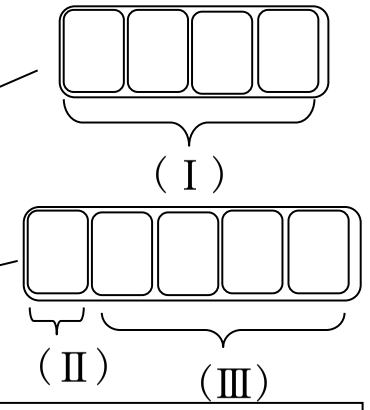
蓋が浮いている状態

蓋上端部を叩く

蓋が適正に設置された状態

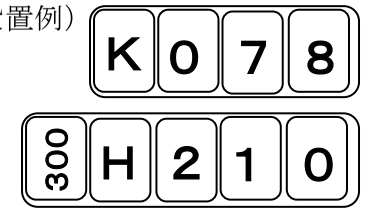
管理ﾅﾝﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄについて(参考資料)　(製造者によっては外枠と内枠が一体となっている場合があります。)

1. 管理ナンバーの意味



(Ⅰ)の4桁は管理図番号
(Ⅱ)の1桁は口径表示
(Ⅲ)の4桁は消火栓番号

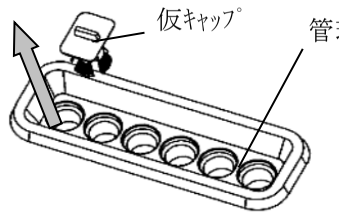
(設置例)



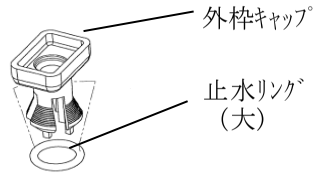
> ⚠注意　(Ⅱ)の口径表示について、300㎜以上の口径については、300を設置して下さい。

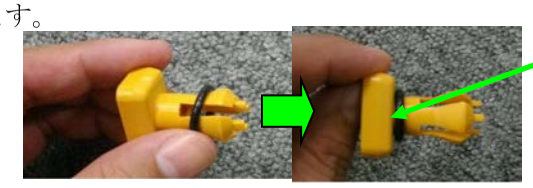
2. 取付け方法

①ペンチ・ドライバ等で、仮キャップを外してください。
※出荷時は、管理ﾅﾝﾊﾞｰｷｬｯﾌﾟ用溝には仮ｷｬｯﾌﾟが取付けられています。



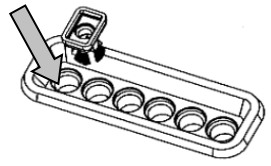
②鉄蓋の管理ナンバーキャップ用溝を、清掃して異物を取り除いてください。
③外枠キャップに止水リングを取り付けます。



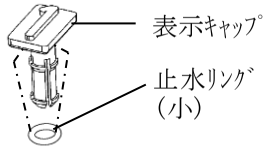


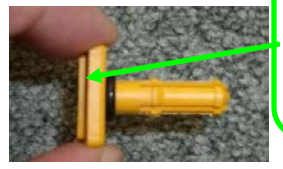
止水ﾘﾝｸﾞ (大)は根元まで入れる。

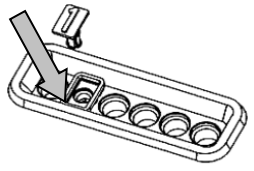
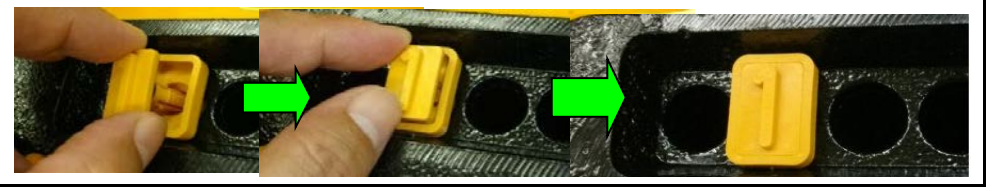
④鉄蓋の管理ナンバーキャップ用溝に③の外枠キャップ(止水リング付)を取り付けます。



⑤表示キャップに止水リングを取り付けます。





止水ﾘﾝｸﾞ (小)は根元まで入れる。

⑥外枠キャップに⑤の表示キャップ(止水リング付き)を取り付けます。